

## ろうきんの健全性の指標

### 自己資本比率(単体)

自己資本比率の高さが経営の健全性を示すポイントです。

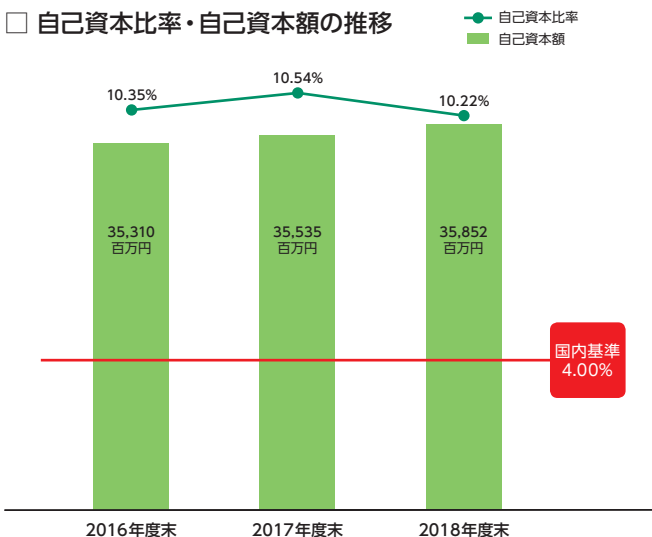
10.22%

自己資本比率は、金融機関の自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準として法令により定められた指標です。

〈北陸ろうきん〉など国内でのみ業務を行う金融機関の自己資本比率は、法令で4%以上(国内基準)であることが求められています。

〈北陸ろうきん〉の自己資本比率は10.22%であり、国内基準4%の2倍以上を確保していることから、安心してお取引いただける水準となっています。

#### 自己資本比率・自己資本額の推移



## 資産内容の開示

資産内容については、次の2つの数値を開示しています。これらは、経営の健全性を図る指標になります。

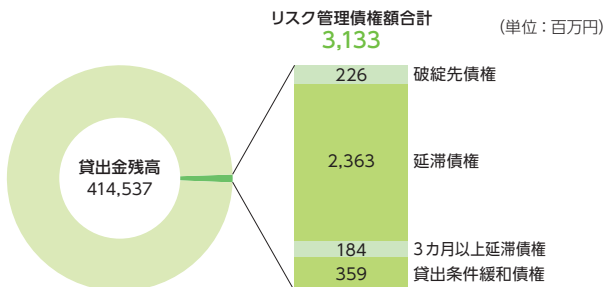
### ①リスク管理債権比率

**リスク管理債権比率の低さが、資産の健全性を示すポイントです。**

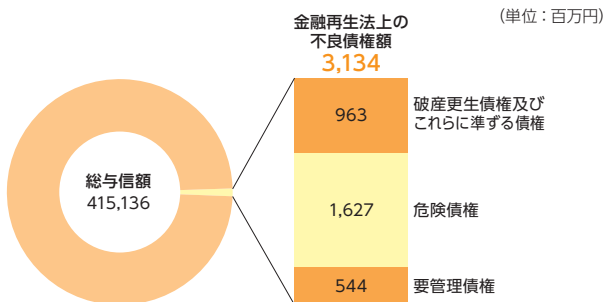
$$0.75\% = \frac{\text{リスク管理債権額}}{\text{貸出金残高}} \times 100$$

リスク管理債権比率とは、貸出金残高に対するリスク管理債権額の割合です。リスク管理債権額とは、何らかの理由により、約定通りの返済が困難な貸出金のことです。リスク管理債権比率が低率であればあるほど、健全であることを意味しています。

当金庫のリスク管理債権比率は0.75%であり、健全性が高いことが数値によって表れています。



### ②金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条の規定に基づく「資産の査定公表」



- (注) 1. 総与信額とは、貸出金、外国為替、債務保証見返、与信関係未収利息・仮払金等融資関連の全科目のことです。  
2. 単位未満は四捨五入しています。

